



古川 ぶんと
ソフィア整骨院 院長

ヘルニアはしびれの原因ではありません!

今月号の相談は「椎間板ヘルニアで足にしびれが生じているのですが、いずれは歩けなくなってしまうのでしょうか」というもの。
さっそく、ソフィア整骨院の古川ぶんと先生に聞いてみた。

Q

では、椎間板ヘルニアがしびれの原因というわけでは

ず。適切な施術でしびれは快方に向かいます。足やしびれが高じて将来的に麻痺につながることはありませんし、筋肉へのしびれはあくまでも筋肉のこわばりによる血流不全が原因です。ですから、治療現場においてあまり厳密な意味で使い分けされていないようですが、痛み、しびれはあくまでも筋肉のこわばりによる血流不全が原因です。ですから、治療現場においてあまり厳密な意味で使い分けされていないようですが、痛み、しびれはあくまでも筋肉のこわばりによる血流不全が原因です。ですから、

痛み、しびれ、麻痺という言葉が医療現場においてあまり厳密な意味で使い分けされていないようですが、痛み、しびれはあくまでも筋肉のこわばりによる血流不全が原因です。ですから、治療現場においてあまり厳密な意味で使い分けされていないようですが、痛み、しびれはあくまでも筋肉のこわばりによる血流不全が原因です。ですから、

A

まず、しびれと麻痺は生理学的にまったく異なる現象

であることを理解してください。しびれとは局所の血流不全によるジンジンとした異常知覚です。長く正座しているときに感じる脚の異常な感覚を想像してもらえばいいと思います。ただししびれの場合、神経そのものに異常を起していることはありません。それに対して麻痺は神経が何らかの原因で正常に機能しなくなり、感覚がなくなってしまうという状態(感覚鈍麻、感覚脱出)のことをいいます。

Q

もともと腰痛があり足にしびれが出てきたので整形外科を受診したところ、椎間板ヘルニア

なのですね。

A

「神経が圧迫されるから痛い、しびれる」という生理学的

事実はありません。ですからヘルニアも脊柱管狭窄も痛みやしびれとは無関係です。骨の変形、軟骨のすり減りなどの構造異常も加齢にともなう退行性変性であり、痛み、しびれ、麻痺のいずれにも関与しません。

Q

今回のケースでは具体的にどのよう

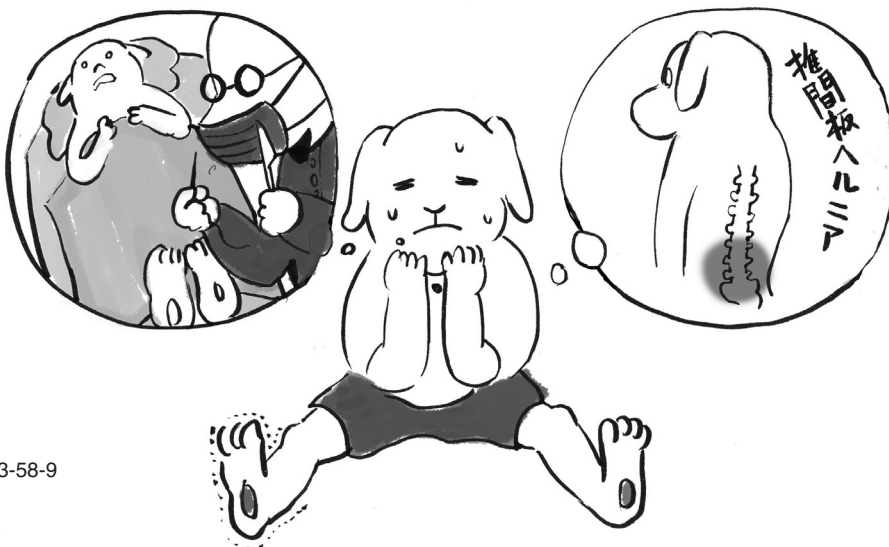
に行っているのでしょうか。

A

まず触診で痛み、しび

れの原因になっている筋肉の硬結(圧痛点)を探し出し、そこを集中的に施術していきます。ちなみに、圧痛点はかならずしも痛みやしびれを感じている部位と一致しているわけではありません。たとえば、臀部や腰まわりの筋肉の異常が原因で足にしびれが放散しているケースもあります。このようなケースでは施術者の知識、技術、経験によって治療効果が左右されます。ぜひ臨床経験が豊富な筋肉治療の専門家に診てもらったことをオススメします。

「ふるかわぶんと」1973年生まれ。大学卒業後柔道整復師の国家資格を取得。厳しい研修生活の後、複数の整骨院で分院長を経験。2006年12月に、痛み専門・筋肉治療専門の「ソフィア整骨院」を開院。



【問い合わせ】

ソフィア整骨院

〒166-0012 東京都杉並区和田3-58-9

パークサイド東高円寺1F

☎03-3314-1276

http://sophia-seikotsuin.com

イラスト:丸子万葵